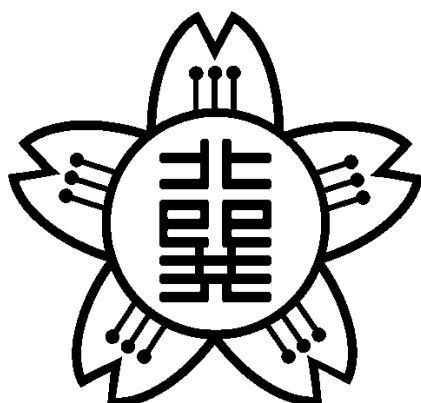


令和 5 年度

「運営に関する計画」



大阪市立 北翼 小学校

【中間評価】

令和 5 年 10 月

大阪市立北巽小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○北巽小学校においては、「自尊感情の低さ」「荒れる子ども」「学力の低さ」が課題と考えられ、令和 3 年度より「学校全体で取り組むポジティブ行動支援 (SWPBS)」に取り組んでいる。令和 4 年度より「エビデンスベースの学校改革」モデル校となり、さらに学力向上や生活指導上の問題等の学校教育課題解決ができる学校組織づくりを進めていった。また、「学力向上支援チーム事業」重点支援校となり、学びサポーターの活用や放課後学習指導等にも取り組んでいった。

○【安全・安心な教育の推進】について

学期に 1 回、「いじめを考える週間」を設定した。毎月の「いじめ不登校等防止対策委員会」で、いじめ・不登校・その他問題行動等について情報共有し、解決に向けての共通理解を図った。SWPBS の取り組みを進めていったことにより、「自尊感情の低さ」を克服することができていった。不登校児童の課題については、今後も SC や SSW、区役所の子育て支援室等と連携した取り組みを継続していく。

○【未来を切り拓く学力・体力の向上】について

タブレット等 ICT の活用によって、児童の考えを深めたり、広げたりする交流活動を大切にしていた。学びサポーターや特別支援教育サポーター等複数人数での指導、T・T や習熟度別少人数指導等により、「わかる授業」の指導方法を工夫していった。学習意欲は高まってきているが、基礎学力の定着や学力向上にはまだまだ課題がある。

体育科の授業で、児童の運動意欲を高めるために、指導内容を工夫していった。年間通じて、「元気モリモリランド」や「耐寒運動 (かけ足、なわとび運動)」等学校全体で取り組んでいった。保健指導・食に関する指導や食育週間、「元気モリモリ週間」等で、早寝・早起き、朝ごはん、進んで運動を行うことができるように取り組んでいった。保護者の協力が必要で、保健だより、給食だより、食育通信やホームページ等により、家庭の啓発を継続していく。

○【学びを支える教育環境の充実】について

算数科の授業だけでなく、国語科や外国語科においても考える段階での交流場面で、タブレット等 ICT 機器を効果的に活用できるようになってきている。さらに、ICT 機器の活用方法について、教職員間で研修や日々の情報交流によって指導力を高めていく機会を増やしていく。読解力の向上においても、読書活動を工夫していく必要がある。

○令和 7 年度に向け、全市共通目標のそれぞれの項目で成果が出るように、「エビデンスベースの学校改革」「学力向上支援チーム事業」の取り組みを推進していく。2 つの事業を継続、融合しながら、本校の教育課題を解決できるようにしていきたい。同時に、学校力を向上させるとともに、教職員の資質向上も図っていきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

(中) 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、90%以上にする。

【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】

(中) 毎年度末の校内調査において、不登校の児童の割合を、毎年、前年度より減少させる。

【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】

(中) 毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を、毎年、増加させる。

【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】

(中) 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、92%以上にする。

【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】

(中) 令和7年度の校内調査の「災害が起こった時に安全に行動できるか考えている」について、肯定的に回答する児童の割合を、90%以上にする。

【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】

(中) 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいことがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、90%以上にする。

【基本的な方向2 豊かな心の育成】

(中) 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、90%以上にする。

【基本的な方向2 豊かな心の育成】

(中) 令和7年度の校内調査の「あいさつや遊び、歌などを通して、身近な国の文化や伝統に触れている。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、90%以上にする。

【基本的な方向2 豊かな心の育成】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

(中) 令和7年度の小学校学力経年調査の平均正答率で IV 区分の児童の割合を、いずれの学年も令和3年度より、5ポイント減少させる。

【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】

(中) 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、35%以上にする。

【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】

(中) 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、5ポイント向上させる。 ※全国平均を1とした時の割合

【基本的な方向5 健やかな体の育成】

(中) 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的「好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。

【基本的な方向5 健やかな体の育成】

(中) 特に課題である「立ち幅跳び」の記録を、令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、全国の記録を上回る。

〔基本的な方向5 健やかな体の育成〕

(中) 令和7年度末の校内調査の「学年に応じた決まった時間に寝ている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。「朝7時までには起きている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

〔基本的な方向5 健やかな体の育成〕

(中) 令和7年度末の校内調査の「朝食を毎日食べていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、90%以上にする

〔基本的な方向5 健やかな体の育成〕

【学びを支える教育環境の充実】

(中) 令和7年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者端末を活用して、学習している」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、100%にする。

〔基本的な方向6 教育Dx（デジタルトランスフォーメーション）の推進〕

(中) ゆとりの日については、週1回以上設定する。

〔基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり〕

(中) 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。

〔基本的な方向8 生涯学習の支援〕

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

（年）令和 5 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、85%以上にする。【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】

（年）令和 5 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を、前年度より減少させる。【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】

（年）令和 5 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を、前年度より増加させる。【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】

（年）令和 5 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。

【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】

（年）令和 5 年度の校内調査の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起りうる事として考えて行動できた」について、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。

【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】

（年）令和 5 年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいとことがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。

【基本的な方向 2 豊かな心の育成】

（年）令和 5 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。

【基本的な方向 2 豊かな心の育成】

（年）令和 5 年度の校内調査の「あいさつや遊び、歌などを通して、身近な国の文化や伝統に触れている。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、70%以上にする。

【基本的な方向 2 豊かな心の育成】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 35%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における国語及び算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント上昇させる。
- ・ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。（昨年度は 79.3%）

- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的「好き」と回答する児童の割合を 73%以上にする。

学校園の年度目標

（年）令和 5 年度の小学校学力経年調査の平均正答率 IV 区分の児童を、いずれの学年も前年度より、1 ポイント減少させる。

〔基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上〕

（年）令和 5 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 45%以上にする。

〔基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上〕

（年）令和 5 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、前年度より 1 ポイント向上させる。 ※全国平均を 1 とした時の割合

〔基本的な方向 5 健やかな体の育成〕

（年）令和 5 年度の小学校学力校内調査の「体を動かして遊ぶことが好きだ」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 70%以上にする。

〔基本的な方向 5 健やかな体の育成〕

（年）令和 5 年度、1 学期（5 月のスポーツテスト）と 2 学期（11 月）に、「立ち幅跳び」の記録をとり、5 月の記録に比べて、平均値 5 cm 以上にする。

〔基本的な方向 5 健やかな体の育成〕

（年）令和 5 年度末の校内調査の「学年に応じた決まった時間に寝ている」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 40%以上にする。「朝 7 時まで起きています」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 60%以上にする。

〔基本的な方向 5 健やかな体の育成〕

（年）令和 5 年度末の校内調査の「朝食を毎日食べていますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を、80%以上にする

〔基本的な方向 5 健やかな体の育成〕

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- ・ICTの活用に関する目標を設定する。
校内調査の「日々の授業の中で学習者端末を活用して、学習している」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。
- ・教職員の働き改革に関する目標を設定する。
ゆとりの日を月 2 回設定・実施する。

学校園の年度目標

（年）令和 5 年度末の校内調査の「タブレットなど ICT を活用した活動を毎日している」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。

〔基本的な方向 6 教育Dx（デジタルトランスフォーメーション）の推進〕

(年) 令和 5 年度、ゆとりの日については、月に 2 回以上に設定する。

〔基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり〕

(年) 令和 5 年度の校内調査の「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、70%以上にする。

〔基本的な方向 8 生涯学習の支援〕

3. 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立北巽小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 全市共通目標(小・中学校) ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。 ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 学校の年度目標 (年) 令和5年度の小学校学力経年調査・校内調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、85%以上にする。 <u>【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</u> (年) 令和5年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を、前年度より減少させる。 <u>【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</u> (年) 令和5年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を、前年度より増加させる。 <u>【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</u> (年) 令和5年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。 <u>【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</u> (年) 令和5年度の校内調査の「災害が起こった時に安全に行動できるか考えている」について、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。 <u>【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</u> (年) 令和5年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいことがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 <u>【基本的な方向2 豊かな心の育成】</u> (年) 令和5年度の小学校学力経年調査・校内調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 <u>【基本的な方向2 豊かな心の育成】</u> (年) 令和5年度の校内調査の「あいさつや遊び、歌などを通して、身近な国の文化や伝統に触れている。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、70%以上にする。 <u>【基本的な方向2 豊かな心の育成】</u>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【施策①】 色々な場面を通じて、いじめはどんな理由があってもいけないことだという意識や気持ちををはぐくむ。		A
指標 令和5年度の小学校学力経年調査・校内調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、85%以上にする。		
取組内容②【施策②】 生活指導部会で月に1回、不登校児童についての共通理解をし、複数の教職員で対応していく。		B
指標 令和5年度末の校内調査において、前年度不登校児童の出席日数の割合を、前年度より増加させる。		
取組内容③【施策③】 「自尊感情の低さ」を克服するために、ポジティブ行動支援の取り組みを進める。		A
指標 令和5年度の全国学力・学習状況調査及び校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。		
取組内容④【施策④】 多文化に触れて、それぞれの立場の人の思いについての理解を深める。		A
指標 令和5年度の校内調査の「あいさつや遊び、歌などを通して、身近な国の文化や伝統に触れている。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。		
取組内容⑤【基本的な方向番号、名称】		
指標		
取組内容⑥【基本的な方向番号、名称】		
指標		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
① 月に一回、実施忘れがないように実施日を決め、児童へのいじめアンケートを実施している。その結果、校内調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の肯定的な回答が86%で、指標を1ポイント上回っている。引き続き取り組んでいく。		
② 前年度に比べると、登校することができるようになってきている。引き続き、いじめ不登校防止対策委員会で学校全体で共有し取り組んでいく。		
③ 全校でポジティブ行動支援を行い、児童の自尊感情を育んでいる。校内調査の「自分にはいいところがある」の肯定的な回答が75%で、昨年度より10ポイント上昇している。引き続き取り組んでいく。		
④ 日頃の生活の中で、身近な国のあいさつに触れ、課程内実践やハギハッキョの活動を通して、民族学級以外の児童も、身近な国について興味をもつことができ、校内調査の「あいさつや遊び、歌などを通して、身近な国の文化や伝統に触れている。」の肯定的な回答が82%で、指標を2ポイント上回っている。引き続き取り組んでいく。		

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立北巽小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 全市共通目標(小・中学校) ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 35%以上にする。 ・ 小学校学力経年調査における国語及び算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント上昇させる。 ・ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。(昨年度は 79.3%) ・ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。 ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的「好き」と回答する児童の割合を 73%以上にする。 学校の年度目標 (年) 令和 5 年度の小学校学力経年調査の平均正答率 IV 区分の児童を、いずれの学年前年度より、1 ポイント減少させる。 〔基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上〕 (年) 令和 5 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 45%以上にする。 〔基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上〕 (年) 令和 5 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、前年度より 1 ポイント向上させる。 ※全国平均を 1 とした時の割合 〔基本的な方向 5 健やかな体の育成〕 (年) 令和 5 年度の校内調査の「体を動かして遊ぶことが好きだ」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 70%以上にする。	

〔基本的な方向 5 健やかな体の育成〕 (年) 令和 5 年度、1 学期（5 月のスポーツテスト）と 2 学期（11 月）に、「立ち幅跳び」の記録をとり、5 月の記録に比べて、平均値 5 cm 以上にする。 〔基本的な方向 5 健やかな体の育成〕 (年) 令和 5 年度末の校内調査の「学年に応じた決まった時間に寝ている」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を 40%以上にする。「朝 7 時まで起きています」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を 60%以上にする。 〔基本的な方向 5 健やかな体の育成〕 (年) 令和 5 年度末の校内調査の「朝食を毎日食べていますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を、80%以上にする 〔基本的な方向 5 健やかな体の育成〕	
---	--

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【誰一人取り残さない学力の向上】 基礎的な学習内容の定着と共に、視覚教材（反具体物やデジタル教材）を効果的に用いたり、T・T や習熟など指導形態を工夫したりするなど、一人ひとりの状況に応じた指導方法の工夫を図る。また、自分の考えを発表したり、書いたりできるような指導方法の工夫も図る。	B
指標 校内調査において学級の友達との間で話し合う活動を通じて、「自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の質問に、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 45 %以上にする。	
取組内容②【誰一人取り残さない学力の向上】 習熟度学習を積極的に取り入れ、学年三分割を実施し、習熟度合に応じた課題の工夫を図る。	B
指標 令和 5 年度の小学校学力経年調査の平均正答率 IV 区分の児童を、いずれの学年前年度より、1 ポイント減少させる。	
取組内容③【健やかな体の育成】 元気モリモリ週間や耐寒運動を活用し、運動意欲が高まるよう指導する。	B
指標 令和 5 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、前年度より 1 ポイント向上させる。また、令和 5 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度以上にする。	
取組内容④【健やかな体の育成】 「北巽モリモリランド」「みんな遊び」など中心に、跳ぶ活動を取り入れる。	B
指標 令和 5 年度、1 学期（5 月のスポーツテスト）と 2 学期（11 月）に、「立ち幅跳び」の記録をとり、5 月の記録に比べて、平均値 5 cm 以上にする。	

取組内容⑤【健やかな体の育成】 保健指導や元気モリモリ週間を通して、早寝早起きの習慣の大切さについて指導する。	B
指標 令和5年度末の校内調査の「学年に応じた決まった時間に寝ている」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を40%以上にする。「朝7時までに起きている」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を60%以上にする。	
取組内容⑥【健やかな体の育成】 食育週間や給食週間を通して、進んでバランスのとれた朝食をとることができるように指導する。	A
指標 食に関する指導や強調週間の取り組みで朝食の大切さについて理解できるようにする。 給食便りや食育通信、ホームページなどで給食の献立について紹介するとともに朝食への活用の仕方を掲載するなどして、児童及び保護者への啓発を進める。 委員会活動等で簡単な朝食を募集したり、紹介したりして、朝食を食べる意欲を高める。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① 「自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の質問への、最も肯定的な回答数の割合は47%で、指標を2ポイント上回った。 高学年では、「一人で考えをまとめる時間（書く）→ペア・グループ・全体交流（ノート交換・話し合い）」というような流れでの話し合い活動を多く取り入れるようにしている。低学年ではハンドサインを取り入れ、自分の意見を少しでも伝えることができるよう指導している。 また NHKforSchool やコラボノート、SKYMENU などの活用も進めて交流が深まるよう指導している。低学年では、生活科や外国語活動などの教科で特に ICT の活用を積極的に図っている。 ② 高学年では習熟度別学習を積極的に取り入れ、レディネステストを行ったりコース希望アンケートを取ったりしながら進めている。中学年では現状、習熟度別学習ができていない。しかし、校内調査「国語の授業がわかる。」と「算数の授業の内容がわかる。」に対して肯定的に回答する児童の割合は、どちらも85%であり、大半の児童は「分かる」という実感を持つことができているといえる。放課後学習では、特に学力に課題のある児童を対象に実施しており、児童1～3人に対して指導者が1人つくような体制を整えることができている。 ③ 校内調査「運動が好きだ。」の前年同期比は1%減となっており、前年同期と同程度であるといえる。 体育科での指導をはじめ、学級でのみんな遊びや運動委員会による元気モリモリ週間を通して、運動する楽しさや好ましい運動習慣がつくような指導を今後も引き続き行っていく。 ④ 体育の時間のはじめにルーティンとして縄跳び運動を取り入れている。また、毎学期に1度ずつ、運動委員会による「北巽モリモリランド」を実施し、長縄運動やラダー運動をする場を設定している。 ⑤ 校内調査「学年に応じた決まった時間に寝ている」に対して最も肯定的に回答する児	

童の割合は38%で、年度目標を2ポイント下回っている。「朝、7時までに起きている」に対して最も肯定的に回答する児童の割合は65%で、年度目標を5ポイント上回っている。学年だよりやほけんだより等へ早寝早起きについての内容を掲載し、啓発を行っていく。 ⑥ 毎日更新している学校ホームページ（給食について）に朝食紹介の記事も掲載し、学級で閲覧する。
次年度への改善点

(様式2)

大阪市立北巽小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標（小・中学校） - ICTの活用に関する目標を設定する。 校内調査の「日々の授業の中で学習者端末を活用して、学習している」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。 - 教職員の働き改革に関する目標を設定する。 ゆとりの日を月2回設定・実施する。 学校の年度目標 (年) 令和5年度末の校内調査の「タブレットなどICTを活用した活動を毎日している」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。 【基本的な方向6 教育Dx（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 (年) 令和5年度、ゆとりの日については、月に2回以上に設定する。 【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 (年) 令和5年度の校内調査の「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 【基本的な方向8 生涯学習の支援】	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育Dx（デジタルトランスフォーメーション）の推進】	A

学習者端末を、授業を中心とした様々な場面で活用し、児童が学習の中で効果的に活用できるよう指導する。	
指標 デジタルドリルや心の天気、タブレット端末を利用したアンケートの実施などを中心として、ほぼ毎日学習者端末を活用する。	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 会議の効率化や業務の精選を行い、働き方の改革をすすめる。	B
指標 ゆとりの日には、臨時の会議などを入れず、ゆとりの時間を確保する。	
取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】 日々の朝読書を中心に、児童が読書に興味を持つことができるように図書室開放や読み聞かせ等の活動を行う。	B
指標 委員会活動で読み聞かせや図書週間の取り組みを学期に1度行ったり、図書館司書や地域の図書館指導員に読み聞かせをしてもらったりする。	
取組内容④【基本的な方向番号、名称】	
指標	
取組内容⑤【基本的な方向番号、名称】	
指標	
取組内容⑥【基本的な方向番号、名称】	
指標	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
①校内アンケート調査の「タブレットなどICTを活用した活動を毎日している。」の項目で肯定的な回答をした児童の割合は88%で、どの学年もほぼ毎日心の天気の入力をはじめ、各種アンケート調査やデジタルドリルの利用でタブレット端末を使用している。 ②毎月、2～3回はゆとりの日を設定している。臨時の会議などは入らなくなっているが、小さな部会等が入ることがあるので、予定表を確認し、ゆとりの日と被らないように、早めに行うようにする。 ③校内アンケート調査の「読書は好きだ。」の項目で肯定的な回答をした児童の割合は82%だった。委員会活動で読書週間の取り組みや図書室でスタンプラリーのイベント活動を通して、児童が読書に興味を持てるように取り組んでいる。図書館司書の方が来られる日には低学年の図書の時間を設定して、読み聞かせを行ってもらったり、あじさいブッククラブの方による読み聞かせを活用したりして、読書に触れる機会を意識的に設けている。	
次年度への改善点	

